

## 妊娠期間が変化している

### 『和牛妊娠は延長 ホルス妊娠は短縮』

さて、乾乳のタイミングは一緒でいいのか？

近年、個体販売価格の優位性から多くの酪農場で和牛受精卵移植がおこなわれるようになっていきます。

10 件の和牛受精卵移植が比較的多くおこなわれている THMS 顧客農場において、昨年 1 年間で出生した和牛子牛とホルスタイン子牛合計 3,000 頭のデータから、品種の違いによる妊娠期間について興味深い結果がでました。

	妊娠期間 (幅)
ホルス授精	275日 (263~287日)
和牛 (受精卵)	289日 (277~303日)

ホルスタイン受胎と和牛受胎で妊娠期間に約 2 週間の差がでました。

私が学校で習ったときの牛の妊娠期間は 280~285 日と云われていましたが、品種ごとにそれぞればらつきがあります。

現在のホルスタインの妊娠期間のベースは 277 日と、乳用種 6 種のなかでもっとも短縮傾向に育種改良されてきているようで、この短縮傾向は今後も加速していくとされています。

また、市場性の非常に高いある血統の和牛は、逆に妊娠期間が長く育種改良されているようです。

このように 2 週間も妊娠期間の異なる状況で、一定期間の乾乳期を確保するためには、受胎品種によって乾乳にするタイミングをアレンジする必要があるのではないのでしょうか？

乾乳期間を短縮させている農場や乾乳し忘れの場合

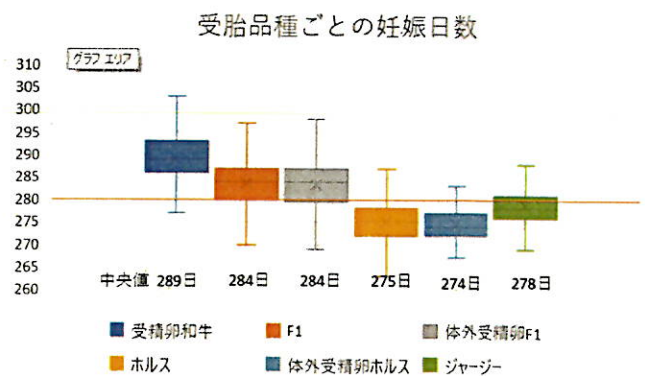
では、ホルスタイン受胎牛は極端に乾乳期間が短くなってしまったり、クローズアップ牛群に入る前に分娩してしまったり、ということが起こりかねません。

また、和牛受胎牛がなかなか分娩しないまま長く乾乳牛群やクローズアップ牛群に在籍することで、過肥や群の過密につながり、このことは周産期疾病のリスクを高めることにもなります。

乾乳処置によって乳腺組織が退縮し、分娩に向けて再び再生してくるまでは、最低 35 日間必要であると言われています。

また、クローズアップ期間の主目的である、ルーメン馴致や周産期疾病の予防のためには、最低 12 日間必要であるとも言われています。

このことも加味すると、60 日乾乳管理でも 45 日乾乳管理でも、乾乳およびクローズアップ開始のタイミングを、ホルスタイン受胎牛は現在よりも 2~5 日早め、和牛受胎牛は 6~9 日遅くすることができるのではないかと思います。



THMS 顧客データ

受胎品種の違いによる妊娠日数の差異は、今後も傾向をみながら 乾乳開始時期のアレンジが必要になってくるでしょう。

佐竹